

第17回

品川区世論調査 あ ら ま し

この小冊子は、2006(平成18)年に実施した「第17回世論調査」の要約版です。今回は、経年変化をみる定住性や重点施策などの項目に加え、高齢者福祉、子育て支援、地域防災、環境問題などの項目についてもたずね、今後の区政運営にあたり貴重な資料として活用してまいりたいと考えております。

ご協力いただきました区民のみなさまには心より御礼を申し上げるとともに、調査結果の概要をお知らせいたします。

調査の内容

- 1 定住性について
- 2 生活環境について
- 3 重点施策について
- 4 環境を守るために日常心がけていることについて
- 5 ごみの各戸収集について
- 6 広報について
- 7 区役所のイメージについて
- 8 子育て(次世代育成)支援について
- 9 介護保険について
- 10 介護予防について
- 11 地域活動への参加意向について
- 12 地域防災について

調査概要

調査対象：品川区在住の満20歳以上の男女個人
(平成18年7月1日現在)

抽出方法：層化2段無作為抽出法

対象者数：1,500人

調査方法：調査員による個別面接聴取法

回収数：1,123人

回収率：74.9%

調査期間：平成18年7月13日～7月31日

調査機関：株式会社 エスピー研

この要約版は、世論調査の結果を抜粋し、わかりやすくまとめたものです。詳しい調査結果は、第17回世論調査として、区政資料コーナー(第三庁舎3階)または、図書館で閲覧することができます。

1 定住性について

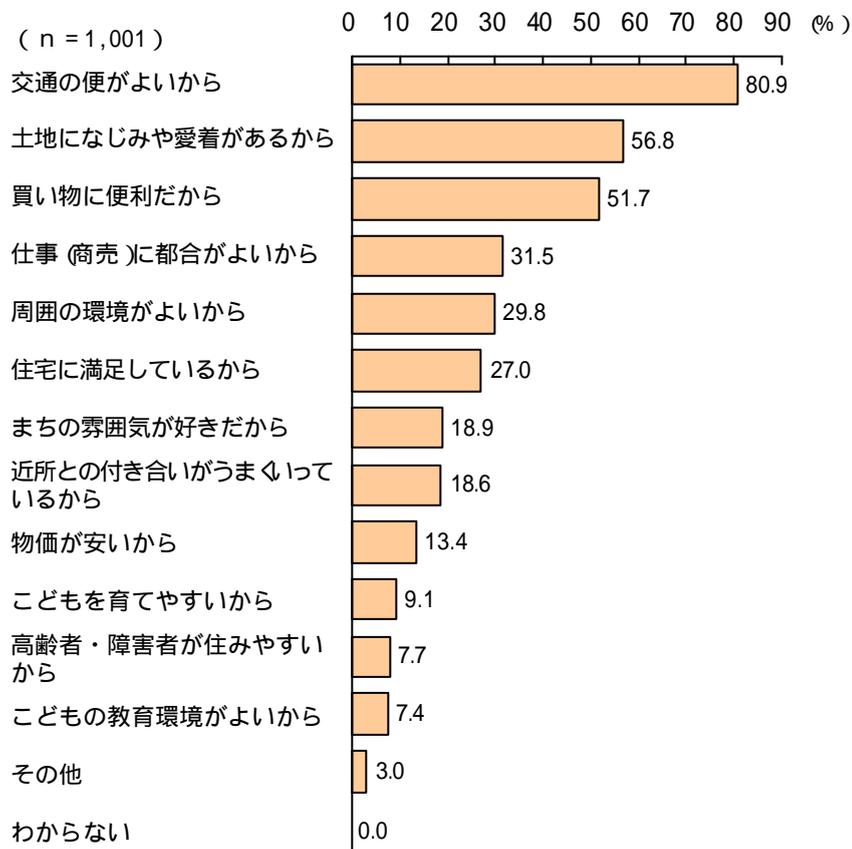
定住意向 区民の定住意向は高い

定住意向をたずねたところ、これからも引き続き品川区に「ずっと住みたい」(50.0%)と「当分は住みたい」(39.2%)を合わせると89.1%で、定住意向は高いといえます。



定住意向理由 交通や買い物の便がよいという理由が上位

品川区に「ずっと住みたい」「当分は住みたい」と思う理由は、「交通の便がよいから」が80.9%と最も多く、次いで「土地になじみや愛着があるから」(56.8%)、「買い物に便利だから」(51.7%)などの順となっており、交通や買い物の便のよさが大きな理由となっています。



2 生活環境について

生活環境についての評価

交通や買い物の便での評価が高く、環境面での評価が低い

生活環境を評価点でみると、「交通」や「買い物の便」での評価が高く、「海、川や運河などの水の汚れ」、「住宅の密集具合」、「空気の汚れ」といった環境面での評価が低くなっています。



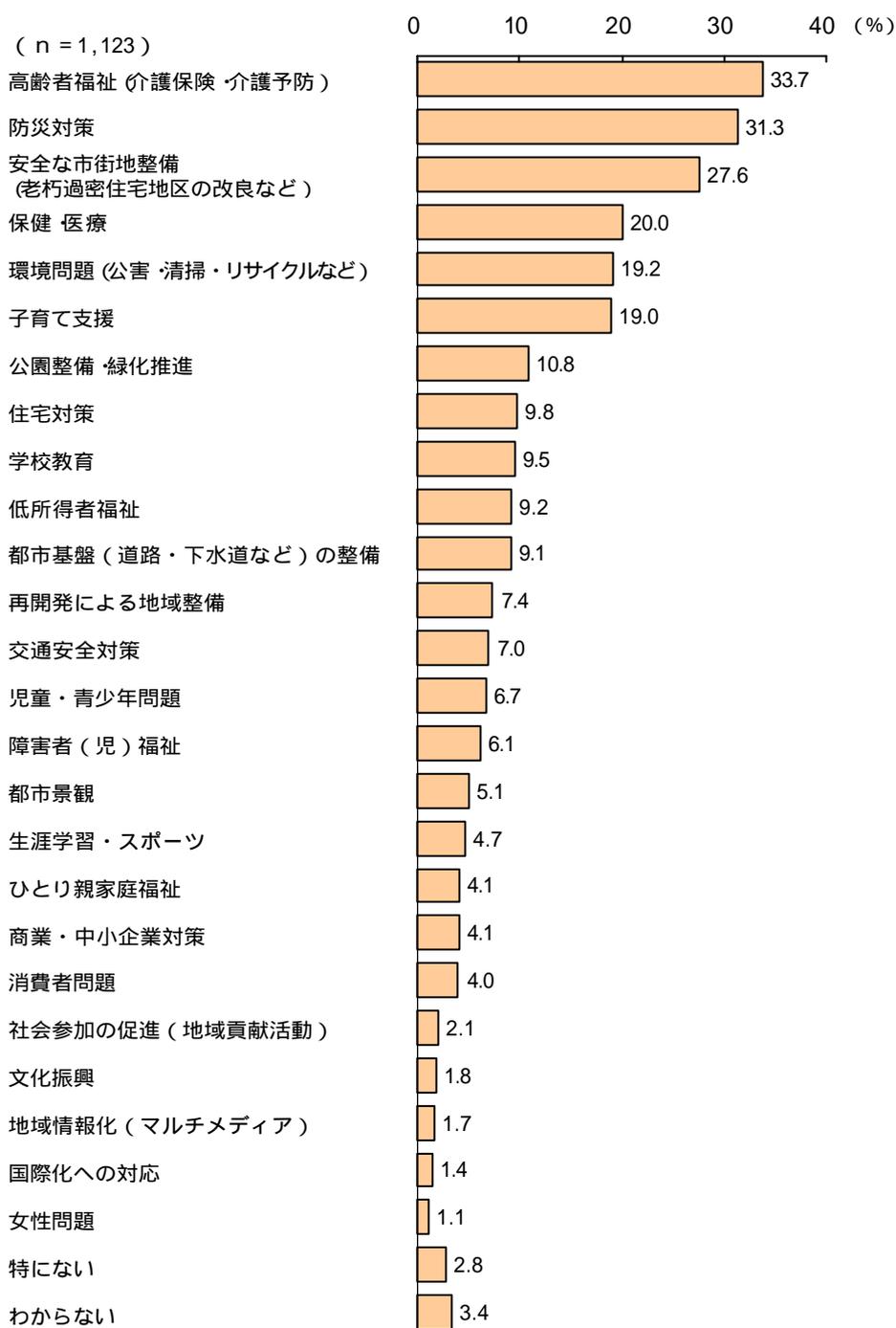
評価点 = (「良い」の回答者数 × 1点 + 「やや良い」の回答者数 × 2点 + 「普通」の回答者数 × 3点 + 「やや悪い」の回答者数 × 4点 + 「悪い」の回答者数 × 5点) ÷ 回答者数

3 重点施策について

今後特に力を入れてほしい施策

「高齢者福祉（介護保険・介護予防）」、「防災対策」、
「安全な市街地整備（老朽過密住宅地区の改良など）」への要望が多い

区の施策の中で、今後特に力を入れてほしい施策は、「高齢者福祉（介護保険・介護予防）」が33.7%と最も多く、次いで「防災対策」(31.3%)、「安全な市街地整備(老朽過密住宅地区の改良など)」(27.6%)などの順となっています。

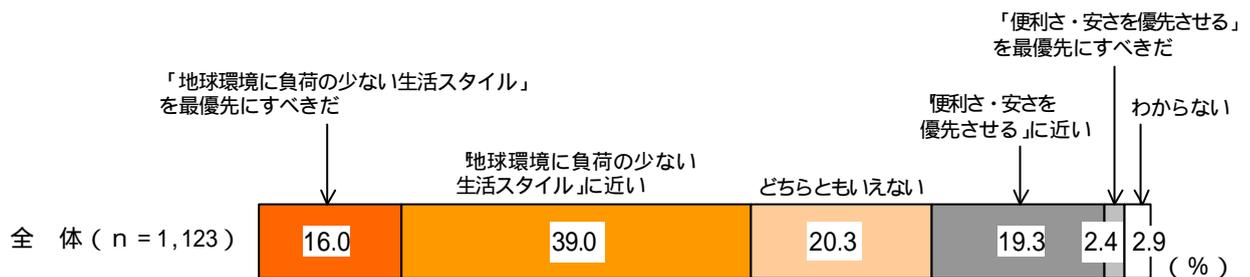


4 環境を守るために日常心がけていることについて

環境保全と経済発展の関係についての考え方

「地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイル」を選ぶ人が半数

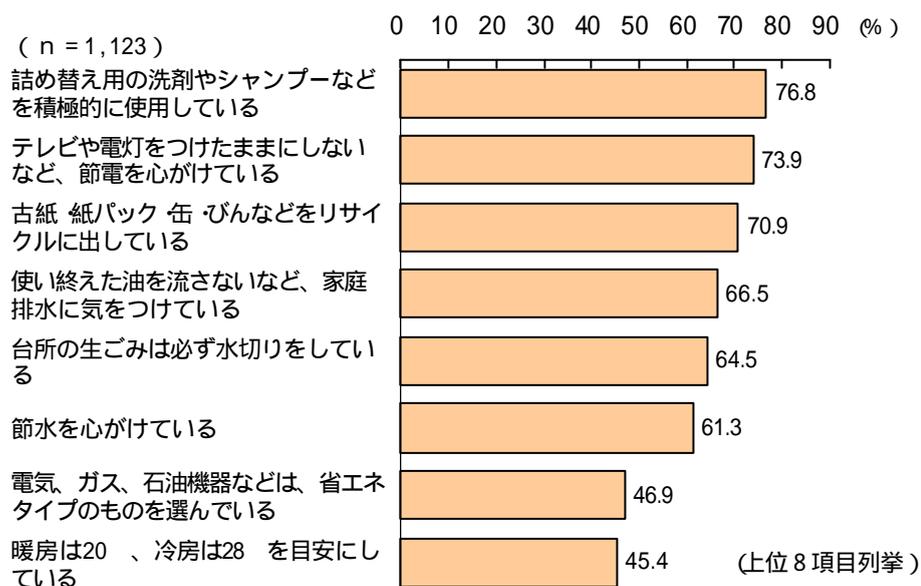
環境保全と経済発展の関係についての考えをたずねたところ、「『経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ』を最優先にすべきだ」（16.0％）と「『経済コストがかかっても、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ』に近い」（39.0％）を合わせると55.0％で、地球環境に負荷（負担）の少ない生活スタイルを選ぶ考えが5割半ばを占めています。



環境保全のために日頃から心がけていること

「詰め替え用洗剤等の使用」、「節電」、「リサイクル」などが多い

家庭で環境保全のために日頃から心がけていることは、「詰め替え用の洗剤やシャンプーなどを積極的に使用している」が76.8％で最も多く、次いで「テレビや電灯をつけたままにしないなど、節電を心がけている」（73.9％）、「古紙・紙パック・缶・びん・ペットボトルなどをリサイクルに出している」（70.9％）などの順となっています。

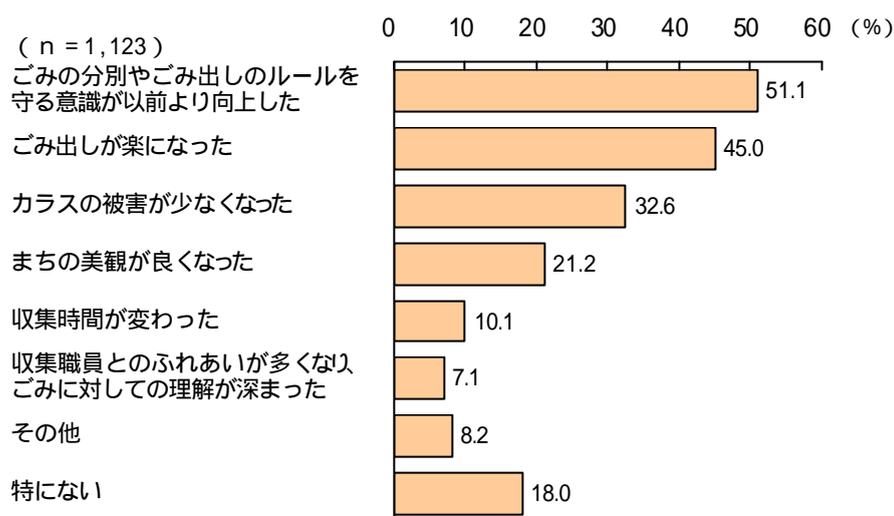


5 ごみの各戸収集について

各戸収集が始まって感じたこと

「ごみの分別やごみ出しのルールを守る意識が以前より向上した」が5割

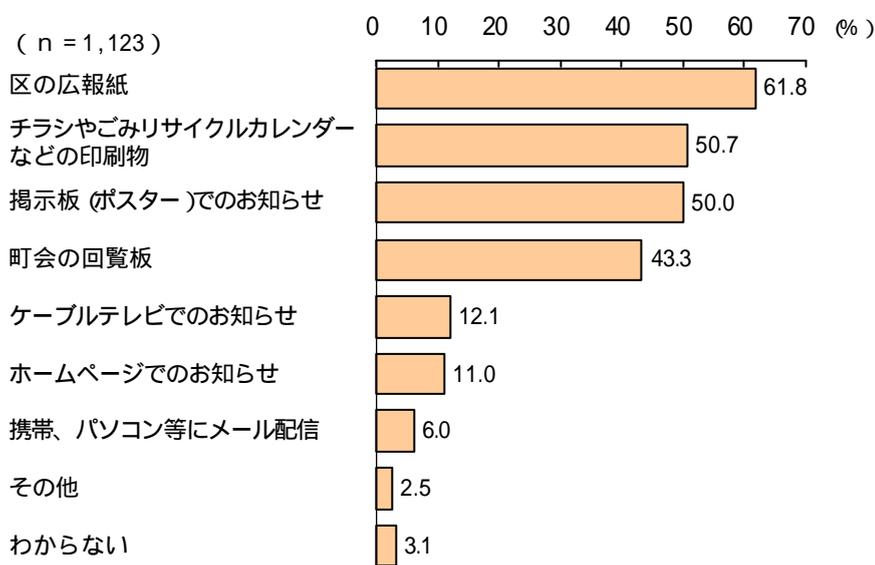
各戸収集が始まって感じたことは、「ごみの分別やごみ出しのルールを守る意識が以前より向上した」が51.1%で最も多く、次いで「ごみ出しが楽になった」(45.0%)、「カラスの被害が少なくなった」(32.6%)などの順となっています。



収集方法の変更等が行われる場合に望ましい周知方法

「区の広報紙」、「チラシなどの印刷物」、「掲示板(ポスター)」が多い

収集方法の変更等が行われる場合に望ましい周知方法は、「区の広報紙」が61.8%と最も多く、次いで「チラシやごみリサイクルカレンダーなどの印刷物」(50.7%)、「掲示板(ポスター)でのお知らせ」(50.0%)などの順となっています。



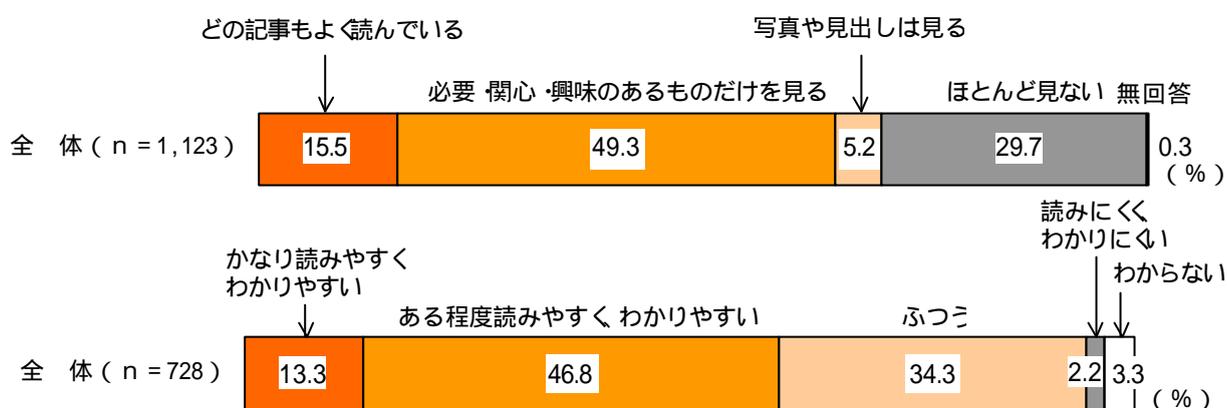
6 広報について

「区のお知らせ しながわ」の閲読率 と 読みやすさ

7割の人が読んでいて、読みやすくわかりやすいと感じている人が6割

「区のお知らせ しながわ」を読んでいるかたずねたところ、「必要・関心・興味のあるものだけを見る」人が49.3%と最も多く、これに「どの記事もよく読んでいる」(15.5%)、「写真や見出しは見る」(5.2%)を合わせると、読んでいる人は70.0%となっています。

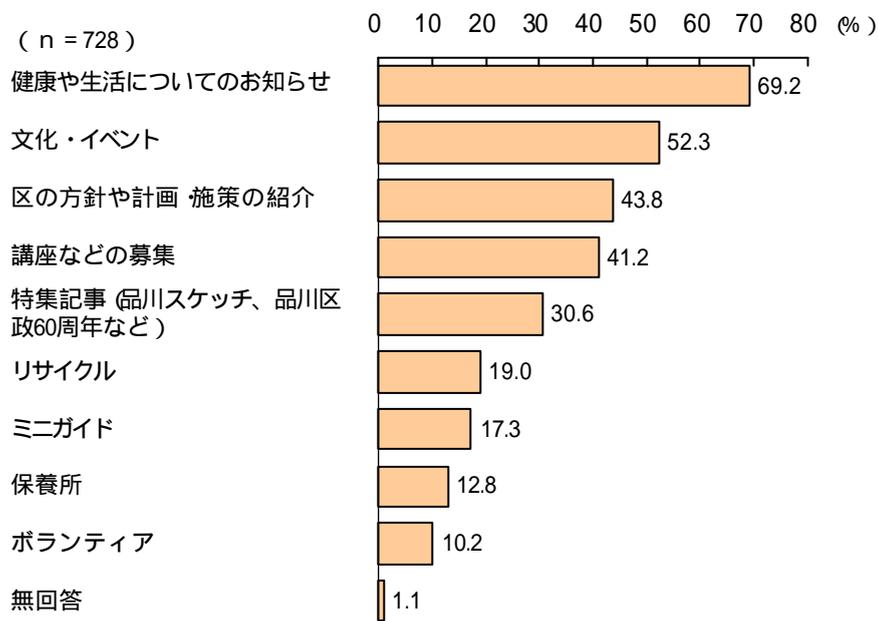
また、広報紙の読みやすさについては、「かなり読みやすくわかりやすい」(13.3%)と「ある程度読みやすく、わかりやすい」(46.8%)を合わせると、読みやすくわかりやすいと感じている人が60.2%となっています。



「区のお知らせ しながわ」でよく読む記事

「健康や生活についてのお知らせ」を読んでいる人がほぼ7割

広報紙でよく読む記事は、「健康や生活についてのお知らせ」が69.2%と最も多く、次いで「文化・イベント」(52.3%)、「区の方針や計画・施策の紹介」(43.8%)などの順となっています。



家庭で保有している通信機器

「テレビ」、「電話」、「携帯電話、PHSなど」の保有が多い

家庭で保有している通信機器は、「テレビ」が98.4%と最も多く、次いで「電話」(93.1%)、「携帯電話、PHSなど」(87.4%)、「ラジオ」(79.5%)などの順となっています。

全体 (n)	テレビ	電話	携帯電話、PHSなど	ラジオ	パソコン	ファックス	IP電話	その他	わからない
1,123	98.4	93.1	87.4	79.5	68.2	59.8	10.2	0.4	0.2

品川ケーブルテレビのコミュニティチャンネルの視聴状況

コミュニティチャンネルは3割の人が視聴している

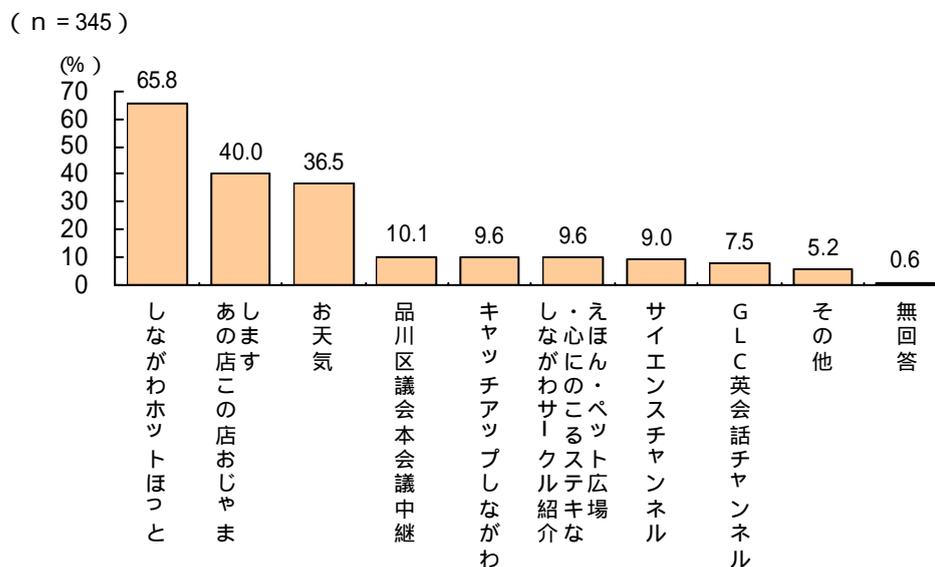
品川ケーブルテレビのコミュニティチャンネルを視聴しているかたずねたところ、「はい」が30.7%、「いいえ」が69.1%となっています。



コミュニティチャンネルでよく視聴する番組

「しながわホットほっと」を視聴している人が6割半ば

よく視聴するコミュニティチャンネル番組をたずねたところ、「しながわホットほっと」が65.8%と最も多く、次いで「あの店この店おじゃまします」(40.0%)、「お天気」(36.5%)などの順となっています。



品川区ホームページの利用頻度

利用経験がある人は3割近く

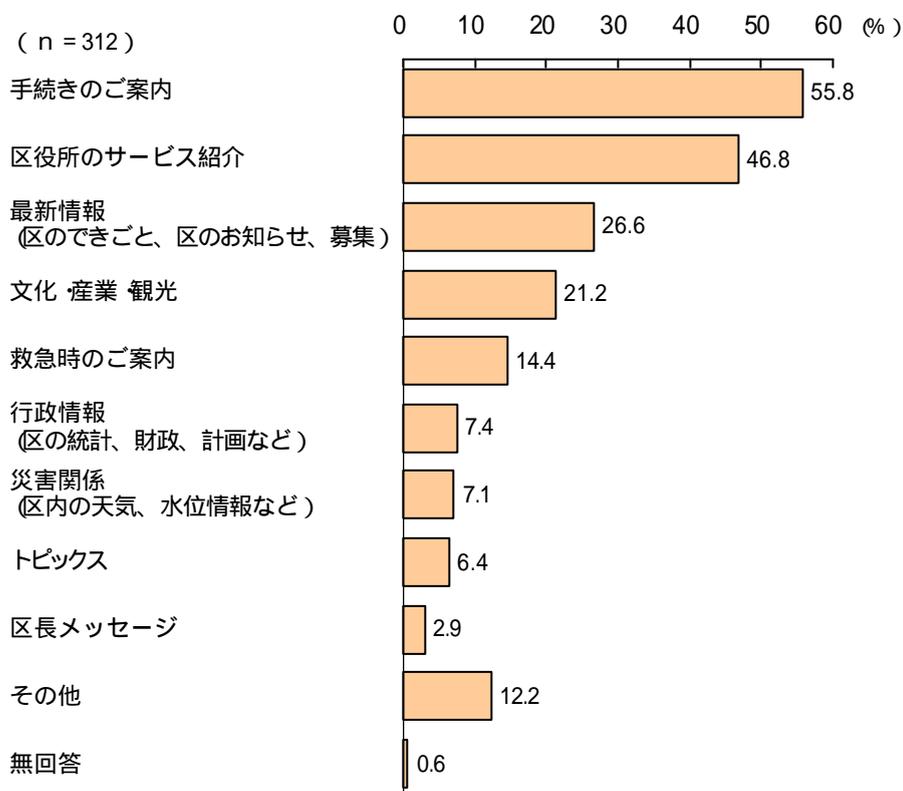
品川区ホームページの利用頻度は、「よく利用している」(1.8%)、「たまに利用している」(7.8%)、「利用したことがある」(18.2%)を合わせた、利用経験がある人は27.8%で、「あることは知っているが利用したことがない」が51.2%と半数を占めています。



品川区ホームページで利用する情報

「手続きのご案内」、「区役所のサービス紹介」が多い

品川区ホームページで利用する情報は、「手続きのご案内」が55.8%と最も多く、次いで「区役所のサービス紹介」(46.8%)、「最新情報(区のできごと、区のお知らせ、募集)」(26.6%)などの順となっています。



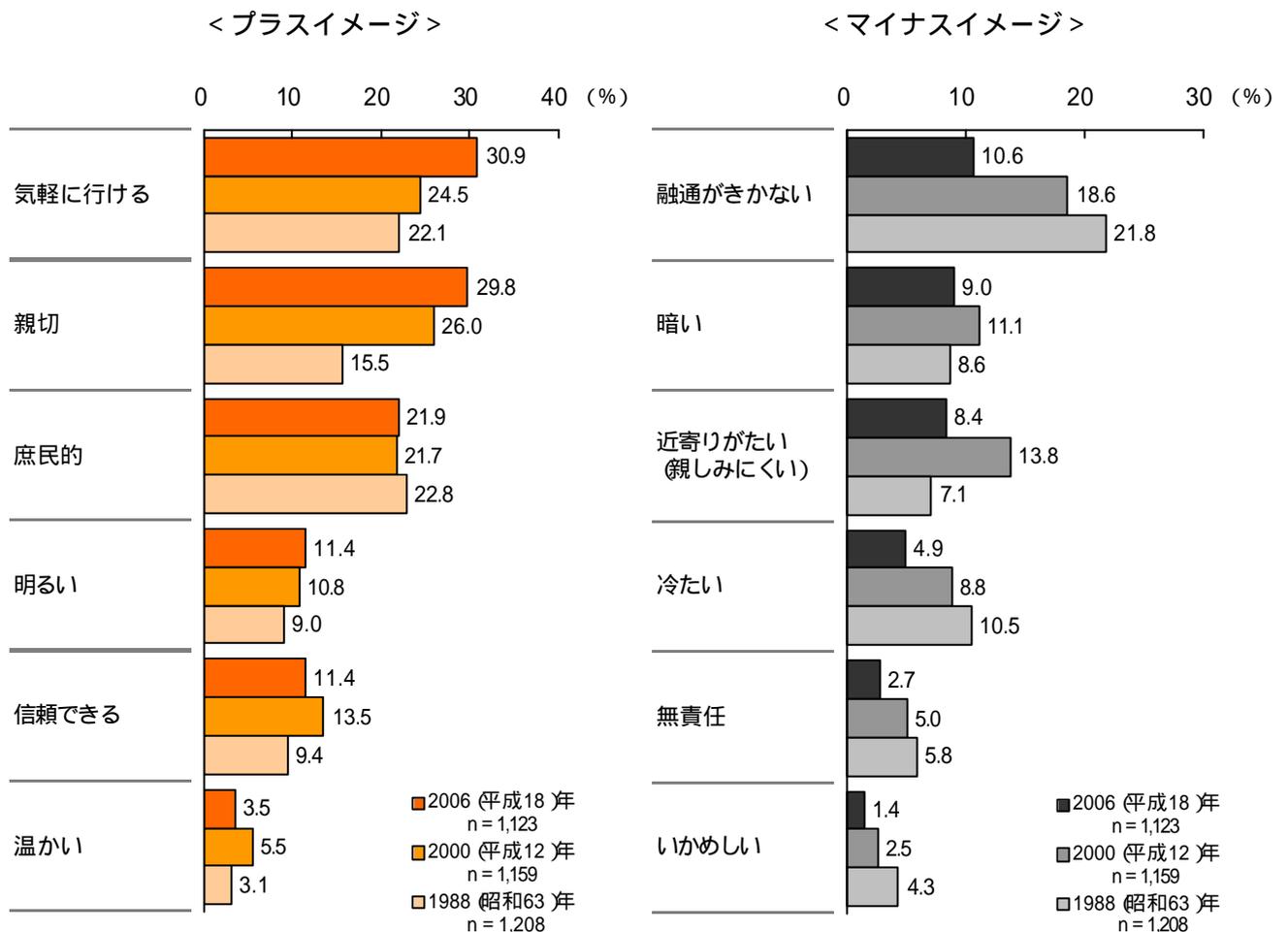
7 区役所のイメージについて

品川区役所の印象

「気軽にに行ける」、「親切」、「庶民的」が上位

品川区役所の印象は、「気軽にに行ける」が30.9%と最も多く、次いで「親切」(29.8%)、「庶民的」(21.9%)、「明るい」と「信頼できる」(ともに11.4%)などの順となっています。

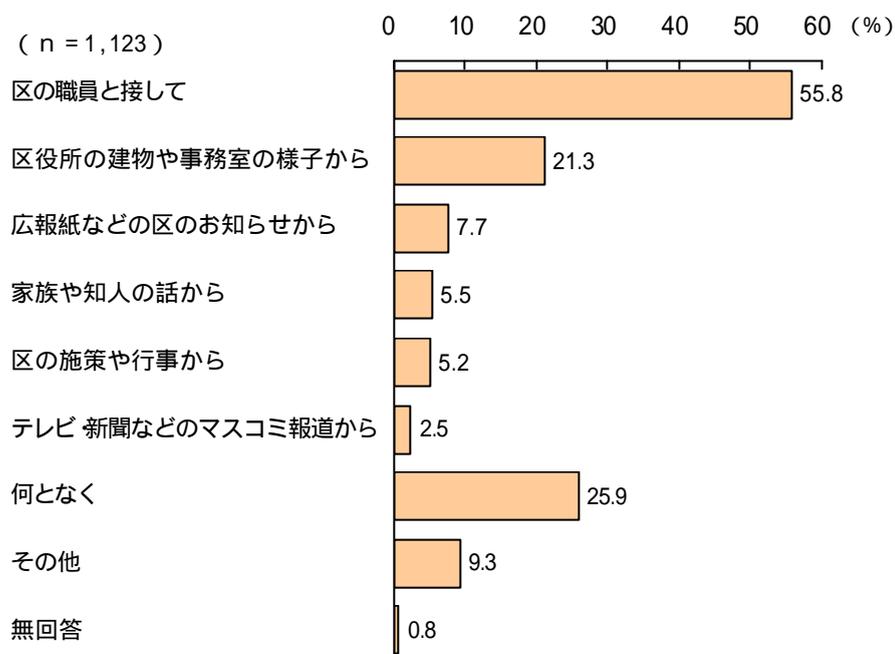
印象の推移をみると、<プラスイメージ>では「気軽にに行ける」と「親切」が大幅な増加傾向にあり、1988(昭和63)年と比較すると、「気軽にに行ける」は9ポイント、「親切」は14ポイント高くなっています。一方、<マイナスイメージ>では「融通がきかない」が大幅な減少傾向にあり、1988(昭和63)年より11ポイント低くなっています。



品川区役所への印象をもった理由

半数の人が区の職員と接しての印象

品川区役所への印象をもった理由についてたずねたところ、「区の職員と接して」が55.8%と最も多く、次いで「区役所の建物や事務室の様子から」(21.3%)、「広報紙などの区のお知らせから」(7.7%)などの順となっています。

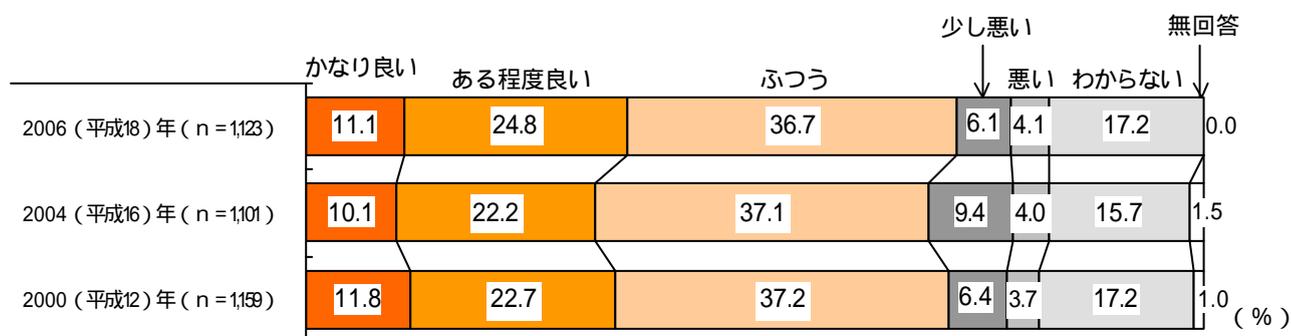


品川区の窓口での対応の評価

良い評価は3割半ば

品川区の窓口での対応の評価は「かなり良い」(11.1%)と「ある程度良い」(24.8%)を合わせると、良い評価が35.9%となっています。また、「ふつう」が36.7%となっています。

対応の評価の推移をみると、「ある程度良い」で3ポイント増加しています。

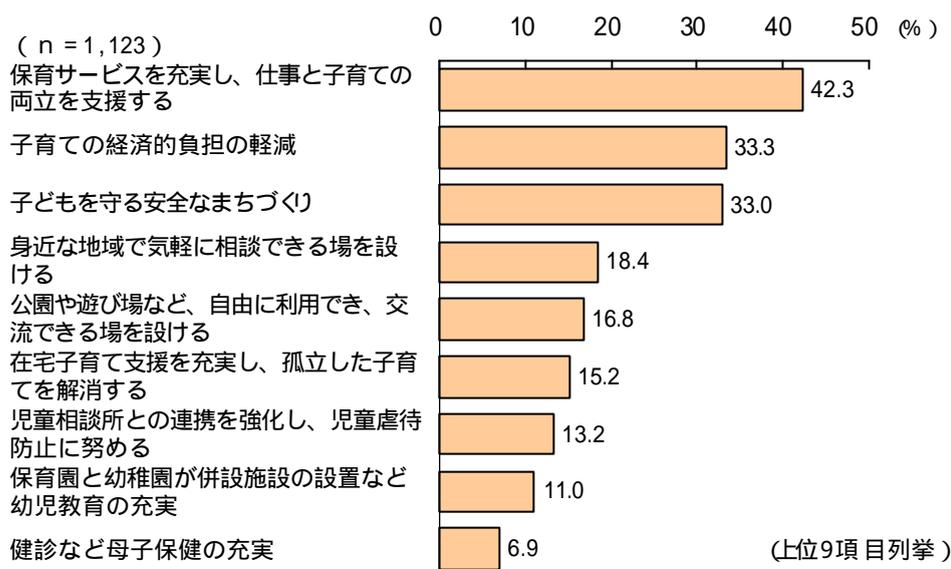


8 子育て（次世代育成）支援について

今後充実すべき子育て支援施策

「保育サービスを充実し、仕事と子育ての両立を支援する」が最も多い

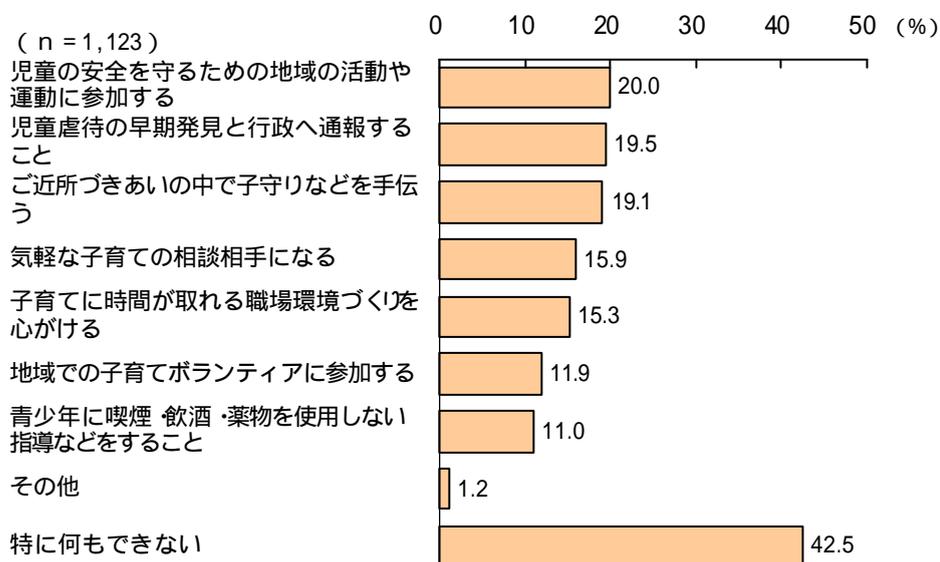
「子育て家庭への支援」として、今後充実すべき子育て支援施策は、「保育サービスを充実し、仕事と子育ての両立を支援する」が42.3%と最も多く、次いで「子育ての経済的負担の軽減」(33.3%)、「子どもを守る安全なまちづくり」(33.0%)などの順となっています。



自分が「子育て家庭への支援」としてできること

「児童の安全を守るための地域の活動や運動に参加する」が2割

自分が「子育て家庭への支援」としてできることは、「児童の安全を守るための地域の活動や運動に参加する」が20.0%と最も多く、次いで「児童虐待の早期発見と行政へ通報すること」(19.5%)、「ご近所づきあいの中で子守りなどを手伝える」(19.1%)などの順となっています。また、「特に何もできない」が42.5%となっています。

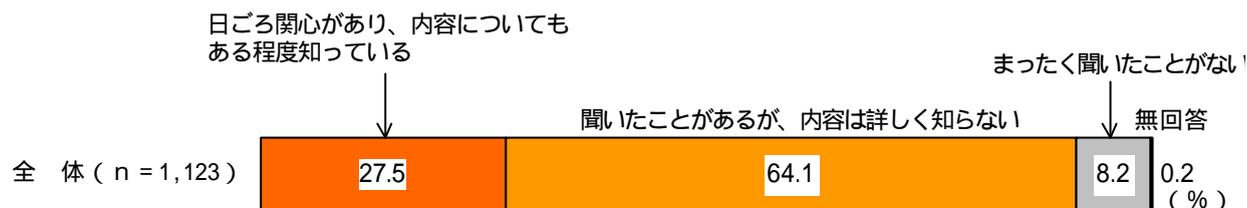


9 介護保険について

介護保険制度の認知度

「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が6割以上

介護保険制度の認知度についてたずねたところ、「聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない」が64.1%となり、「日ごろ関心があり、内容についてもある程度知っている」は27.5%となっています。



サービスの水準と保険料の関係についての考え方

「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」が3割半ば、
「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が2割半ば

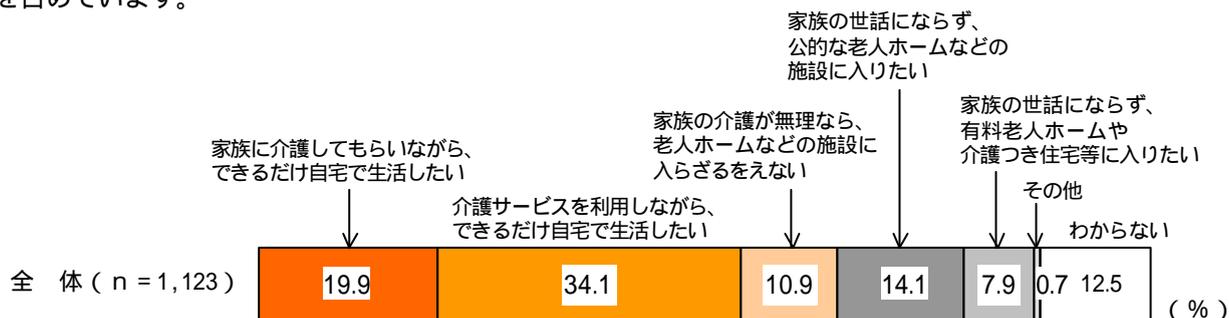
サービスの水準と保険料の関係についての考えについてたずねたところ、「保険料が高くても、介護サービスが充実しているほうがよい」が34.8%、「介護サービスを多少おさえても、保険料が安いほうがよい」が26.1%となっています。



老後に希望する介護の形態

半数の人が自宅での生活を望んでいる

老後に希望する介護の形態についてたずねたところ、「ホームヘルプサービスなどの介護サービスを利用しながら、できるだけ自宅で生活したい」が34.1%と最も多く、これに「家族に介護してもらいながら、できるだけ自宅で生活したい」(19.9%)を合わせると、自宅で生活したい人が54.0%と半数を占めています。

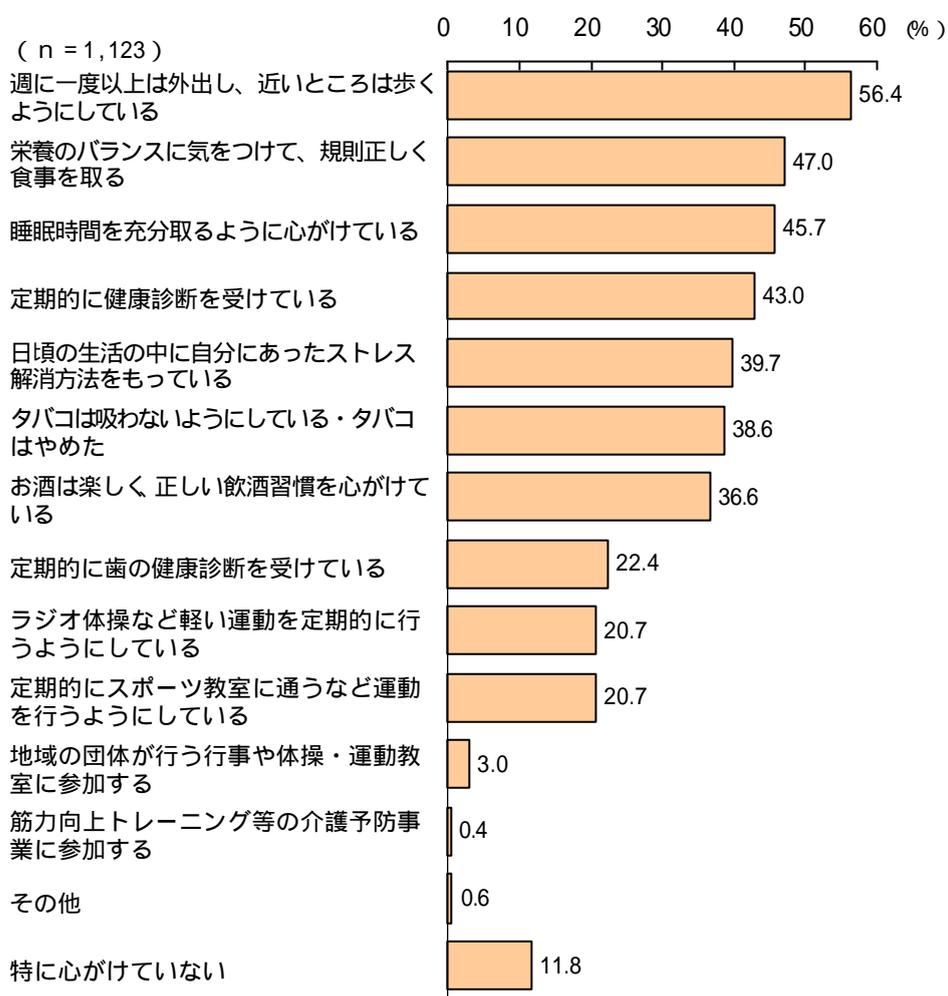


10 介護予防について

健康を維持するために日頃から実践していること

「週に一度以上は外出し、近いところはバスやタクシーに乗らず歩くようにしている」が最も多い

健康を維持するために日頃から実践していることは、「週に一度以上は外出し、近いところはバスやタクシーに乗らず歩くようにしている」が56.4%と最も多く、次いで「栄養のバランスに気をつけて、規則正しく食事を取る」(47.0%)、「睡眠時間を充分取るように心がけている」(45.7%)などの順となっています。



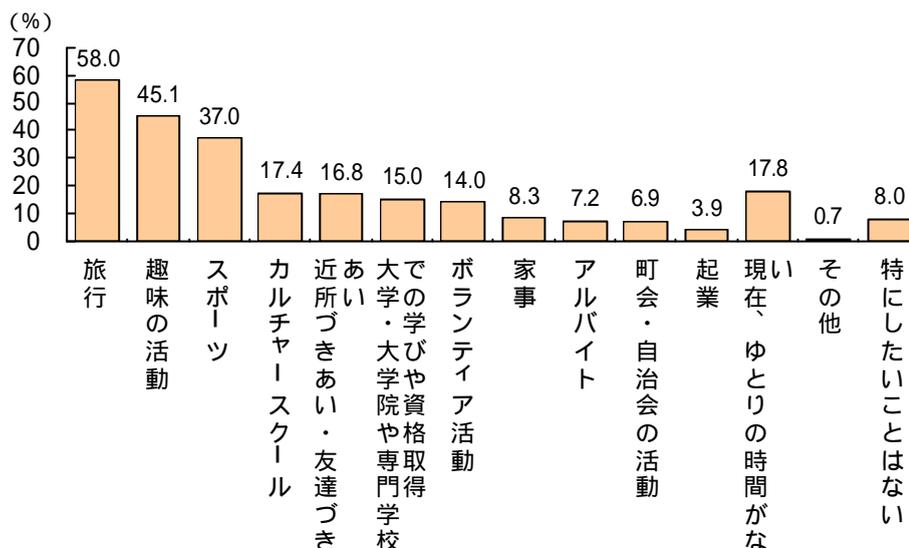
11 地域活動への参加意向について

ゆとりの時間に取り組みたいこと

「旅行」、「趣味の活動」、「スポーツ」が多い

ゆとりの時間に取り組みたいことは、「旅行」が58.0%で最も多く、次いで「趣味の活動」(45.1%)、「スポーツ」(37.0%)などの順となっています。

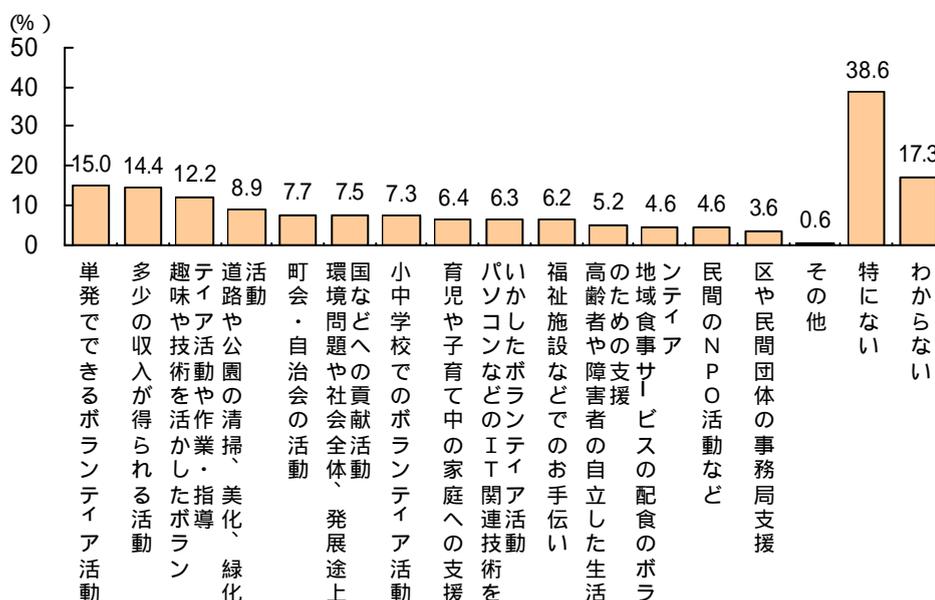
(n = 1,123)



ボランティアやまちづくりのための活動への参加意向

ボランティアやまちづくりのための活動への参加意向についてたずねたところ、「単発でできるボランティア活動」が15.0%で最も多く、次いで「多少の収入が得られる活動」(14.4%)、「趣味や技術を活かしたボランティア活動や作業・指導」(12.2%)などの順となっています。また、「特にない」が38.6%となっています。

(n = 1,123)

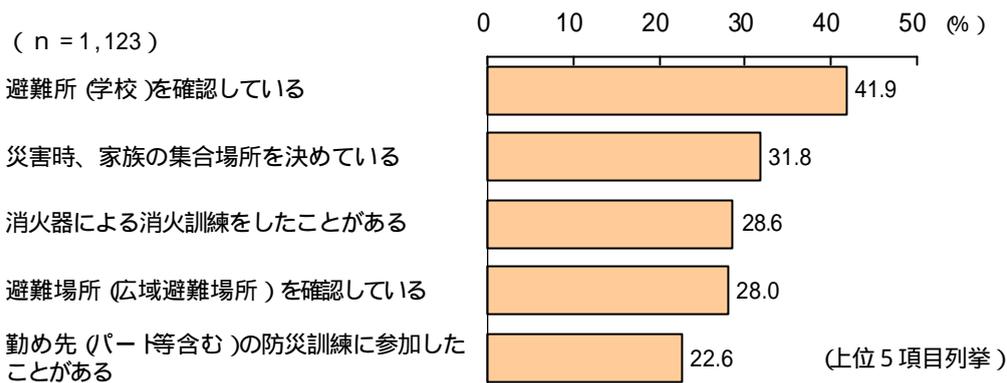


12 地域防災について

防災のために日頃から心がけていること

「避難所（学校）を確認している」が最も多い

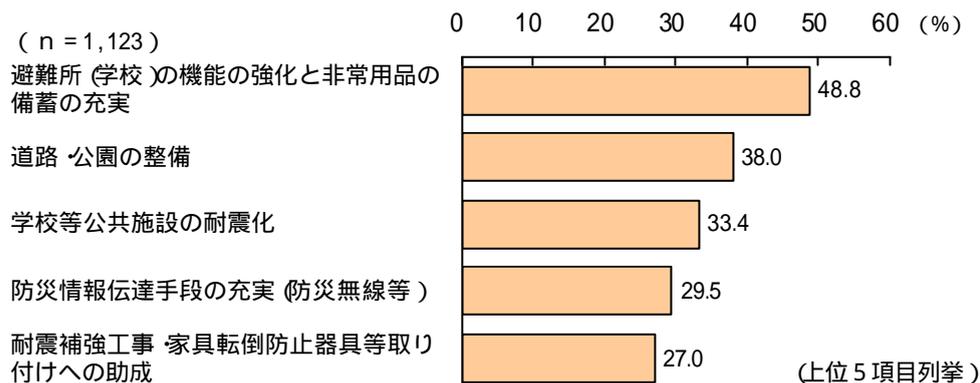
防災のために日頃から心がけていることは、「避難所（学校）を確認している」が41.9%と最も多く、次いで「災害時、家族の集合場所を決めている」（31.8%）、「消火器による消火訓練をしたことがある」（28.6%）などの順となっています。



今後充実すべき防災対策

「避難所（学校）の機能の強化と非常用品の備蓄の充実」が最も多い

今後充実すべき防災対策は、「避難所（学校）の機能の強化と非常用品の備蓄の充実」が48.8%で最も多く、次いで「道路・公園の整備」（38.0%）、「学校等公共施設の耐震化」（33.4%）などの順となっています。



第17回品川区世論調査 要約版

2006（平成18）年12月

発行 品川区企画部広報広聴課

品川区広町2-1-36

03(5742)6643(直通)

実施 株式会社エスピー研 調査事業部

東京都千代田区飯田橋3-11-20

03(3239)0071(代表)